



2022年11月ならまちリーグアンケート 要望確認結果

今回参加者からのコメント



◎1人目 (18:00~18:30)

・講話者 西菜槻

近畿大学農学部 株式会社 やるか、やらんか

○テーマ 「やるか、やらんか とは？」

◎2人目 (18:30~19:30)

・講話者 武田 幸 <https://twitter.com/wonderfulmiyu>

○所属 ・仏育プロジェクト 代表

・高校就職・進学セミナー講師、

・障害者雇用支援 ・キャリアカウンセラー

○テーマ「大企業が導入するジョブ型雇用と就活生への影響」

◎ 懇親会 (19:30~20:00)

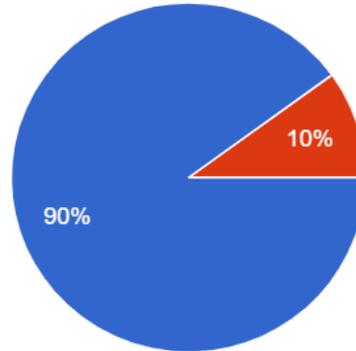
グループに分かれて他業種の方の考え方を学びましょう！



TM

Q1: 今回のプレゼンテーションは、あなたの視線や注意を惹く演出や画面切り替えがなされていましたか？

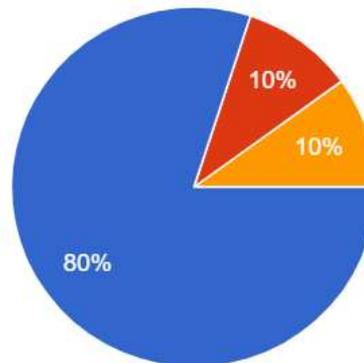
10件の回答



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- ふつう
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

Q2: 今回の講話・ワークショップは、オンラインならではの工夫があるものとなりましたか？

10件の回答



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- ふつう
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

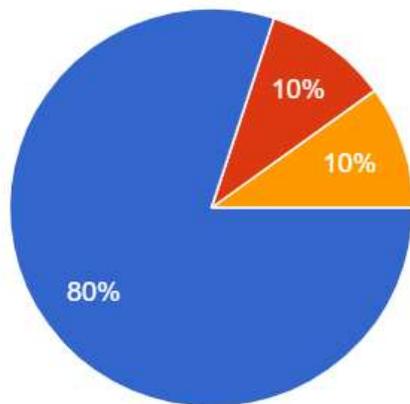


TM

Q3: (画面上での講師の魅せ方)
は適切でしたか?

画面から見える講師の表情や視線、姿勢、声量

10件の回答

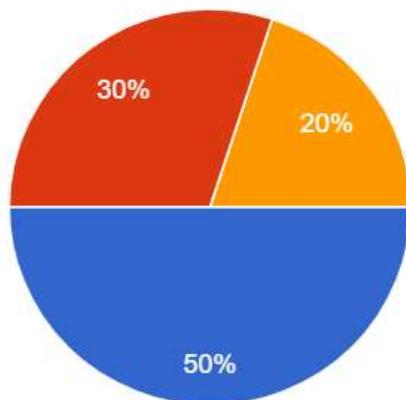


- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- ふつう
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

Q4: (オペレーションの安定度)
サポートは機能していましたか?

講義が円滑に進行できるよう司会や事務局等のサ

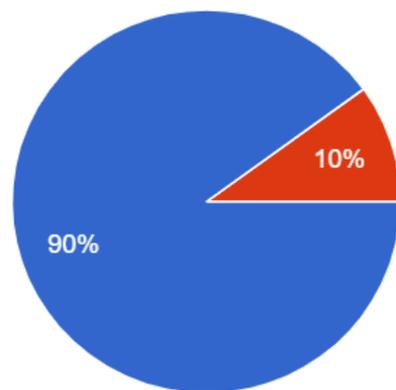
10件の回答



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- ふつう
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

Q5：今回の講義そのものの内容は、あなた（のご期待）にとって有意義なものだと感じられましたか？

10件の回答



- かなり有意義だと感じた
- ある程度または少しは役立つと感じた
- あまり役立たないのではないかと感じた
- 期待とは違った内容だった



ヒ

—

TM

Q6：上記Q5について、補足ご意見、ご評価、気になった点や改善点があればお聞かせください。

5件の回答

南さんの進行がやはり安定していてホッとして聴くことができました。

武田さんの発表は、日本の企業の動向を生で知るよい機会でした。ありがとうございました。西さんの発表は、コロナ禍の中、自分でしっかり考えて行動したことは素晴らしいと思います。他の学生に一つの生き方や仕事観を見せるということであれば、時間が限られておりましたが、やっていることやメディアの露出談のアピールはほどほどにし、苦勞談や失敗談、仲間とどのような議論を戦わせたかなどのお話を他の学生さんに示していただくのがよいのではないかと思います。今後の検討ですが、学生さんの発表内容は「苦勞・失敗・自分の学び」＝成功談・メディア露出紹介となるような構成と時間配分を考えていただくようにあらかじめお願いされてはいかがでしょうか？

西くんとは、改めてこれから一緒に奈良を盛り上げていくために活動したいなと思うきっかけとなりました。「まずはやってから考える」、「モチベに悩む必要がないくらい忙しい場に身を置く」というキーワードを心に刻みたいと思います。

武田さんのお話では、これからの社会のあるべき姿は何か、考えるきっかけとなりました。長山さん、芦谷さん、苗代くんのような方とも出会え、今後も関わっていきたいと思います。

西さんのアグレッシブな取り組みの姿勢と理念は、「やるかやらんか」というネーミングにも表れていて大変興味深く聞かせていただきました。

また、武田さんのジョブ型雇用については、私自身がパナソニックとパソナの2つの企業に関係した企業でジョブ型雇用で転職しましたのでこちらも興味深く聞かせていただきました。

働き方改革で、雇用やワーキングスタイルは変わるものの最終的には、そこに勤める人の意識が一番大事。特に大企業は、過去の概念に縛られている傾向が感じられ、若い人がそれにめげずにどれだけ打破できるかに日本の未来がかかっていると思います。

奈良町リーグのなかから、やわらか頭の発想が広がることを今後も楽しみにしています。

本日は出先の為、途中から通信が途絶えてしまい申し訳ございませんでした。今後とも宜しくお願いいたします。菅野明弘拝



■西菜槻さん・近畿大学農学部 株式会社 やるか、やらんか代表
「やるか、やらんか」発表について

志が高い素晴らしい発言が多くあり、皆さんも沢山の気づきもありました。特に西さんの発言で「日本の若い人に人生の選択肢を伝えたい」、「モチベーションに左右されない環境へ自分から入る」「学生&事業家として人とのつながりを大切にしている」などのコメントがありました。それらは、奈良愛を持ちつづけて今後も奈良で新たな人材を育んでくれる頼もしい学生&事業家である事に関心しました。そして奈良町の誇れる学生の西菜槻さんに更なる御活躍を期待しています。

平田幸一（ならがよい代表）アドバイザーから西さんへの質問で、「今まで一番困った事は？」に対して西さんは、困った事がすぐ出てこない様子で、逆にその環境を楽しんでおられる様な強さも感じました。平田さんからのアドバイスは、「困った事象は、考えるトリガーとして捉えることが、新たなヒントとなるので頑張ってください」といつもながらの御指導に大人の私も勉強させていただきました。

長山先生（松本国際高等学校奈良分校 学長）からも今後の西さんの活動に対しては、「後輩指導として何を伝えて何を残していくかがポイントですね」との御指導もありました。又、「何事にもプロ意識を持ちやりたい事に潜在意識を持ち続け、大人も未来の子供へ伝えて導くそして誰でもが気づける環境づくりが必要」との熱いコメントも頂きました。

■ 仏育プロジェクト代表 武田幸さんの

「大手企業が導入するジョブ型雇用と就活生への影響」発表について、

日本型雇用（＝メンバーシップ型雇用）とジョブ型雇用についての分かりやすい説明及びジョブ型雇用のキャリアアップや、日本がジョブ型雇用へ動き出した背景、今後の就活方法がどうかかわるか？などQ&Aのプレゼンで非常に分かりやすく刺激を受けて聴けました。

とくに今後の就活生はどうしたらよいか？について武田さんからのお言葉で、「どのように生きたいかを主体的に考え、仕事を学ぶ準備をし、学びの質や量を増やし、普段やらない事をあえてチャレンジする事が大事、例えば学生時代のボランティア活動や行政のチャレンジ企画に参加して企画実践しプレゼンをする」など沢山の学びのメッセージを頂きました。

学生さんから武田幸さんへも沢山の意見がありその一例は、

「武田さんの講和を聞いて子供たちへのメッセージや指導方法を変化してみたい、子供たちとの関わり方を変えてみたい、柔軟になる姿勢を大事にしたい」などたくさんの気づきがあったみたいです。

芦谷直登先生（ひょうご環境体育館 館長）から武田幸さんや学生さんへ頂いた御意見は

「教員もJOB型の考えを語り続ける事が大事です」との熱い意見があり、この講話やアドバイスを聞いたり読んだりしてくれてる学生さん達へ伝えていく事の重要性を感じました。